



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 大同信号株式会社
 コード番号 6743 URL <http://www.daido-signal.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 盛三
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員財務統括部長 (氏名) 浅田 安彦

TEL 03-3438-4111

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	3,721	0.1	61		146	198.2	19	
2020年3月期第1四半期	3,717	0.3	106		48	65.1	9	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 675百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 142百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	1.12	
2020年3月期第1四半期	0.53	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	43,197	26,082	50.1
2020年3月期	44,251	25,603	48.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 21,636百万円 2020年3月期 21,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期				10.00	10.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響から、現時点では合理的な算定が困難であることから、未定とさせていただきます。今後開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	18,018,000 株	2020年3月期	18,018,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	226,639 株	2020年3月期	226,639 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	17,791,361 株	2020年3月期1Q	17,791,453 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、経済・社会活動が大きく制限され、景気は急速に悪化しました。また、世界的感染拡大により世界同時不況に陥り、主要政府及び中央銀行は大規模経済対策を実施し景気の底割れを食い止めています。新型コロナウイルスの収束の兆しは見え、さらに香港問題等による米中対立激化等のリスクが加わり、依然として企業を取り巻く環境は先行き不透明な経営環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループは新型コロナウイルス感染症拡大抑制のために、テレワーク等を実施し従業員の感染リスクを低減して、事業活動の維持に努め、受注の獲得と拡大に取り組んでまいりました。加えて経費削減等に努めた結果、業績面においては新型コロナウイルス感染症の影響は現時点では出ておりません。

鉄道信号関連事業については、ATC（自動列車制御装置）・電子連動装置等のシステム製品及びリレー等のフィールド製品は減少しましたが、運行管理システム等のシステム製品及び踏切装置・閉塞装置・軌道回路等のフィールド製品が増加し、売上高は32億73百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

産業用機器関連事業については、テレメータ観測装置等は増加しましたが、非接触耐熱IDシステム・鉄道車両用ブレーキ自動隙間調整器等が減少し、売上高は3億45百万円（前年同期比7.7%減）となりました。

不動産関連事業については、売上高は1億2百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は37億21百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は61百万円（前年同期は営業損失1億6百万円）、経常利益は1億46百万円（前年同期比198.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は19百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失9百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ10億54百万円減少し、431億97百万円となりました。これは、現金及び預金が25億88百万円、たな卸資産が17億66百万円、投資有価証券が8億31百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が61億75百万円減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ15億33百万円減少し、171億14百万円となりました。これは、長期借入金が5億60百万円増加しましたが、短期借入金10億円、賞与引当金が5億37百万円、支払手形及び買掛金が5億19百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ4億79百万円増加し、260億82百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が4億43百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの影響が極めて大きく、鉄道業界においては、移動制限やイベント等の縮小、外国人の入国制限等により、かつてない厳しい環境が続き、依然として先行き不透明な状況であり、現時点では合理的な算定が困難であることから、引き続き未定とさせていただきます。なお、今後開示が可能となった段階で速やかに公表いたします。

当社グループの主力事業であります鉄道信号関連事業は、主要顧客である国内鉄道事業者や官公庁等の設備投資に伴う売上の比重が高いため、売上高は期末にかけて増加する傾向にあります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,524,913	8,113,257
受取手形及び売掛金	10,519,794	4,344,789
商品及び製品	2,855,669	3,149,973
仕掛品	5,574,293	6,910,654
原材料及び貯蔵品	2,345,600	2,481,114
その他	40,614	162,886
流動資産合計	26,860,886	25,162,675
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,484,645	6,484,645
その他(純額)	3,773,299	3,688,708
有形固定資産合計	10,257,945	10,173,354
無形固定資産		
投資その他の資産	114,205	107,896
投資有価証券	6,498,377	7,330,050
その他	523,380	426,597
貸倒引当金	△3,570	△3,570
投資その他の資産合計	7,018,188	7,753,078
固定資産合計	17,390,338	18,034,328
資産合計	44,251,225	43,197,004
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,176,467	4,656,713
短期借入金	4,091,432	3,091,432
未払法人税等	225,157	22,927
賞与引当金	863,158	326,030
役員賞与引当金	21,819	—
製品補修引当金	973,718	965,367
受注損失引当金	23,200	58,200
特別修繕引当金	134,430	134,430
その他	1,445,812	1,566,221
流動負債合計	12,955,196	10,821,322
固定負債		
長期借入金	1,268,446	1,829,338
役員退職慰労引当金	87,304	90,541
製品補修引当金	892,511	836,591
退職給付に係る負債	1,988,632	1,883,955
その他	1,455,734	1,652,606
固定負債合計	5,692,629	6,293,031
負債合計	18,647,825	17,114,353

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,039	1,500,039
資本剰余金	1,233,716	1,233,716
利益剰余金	16,314,609	16,156,681
自己株式	△66,273	△66,273
株主資本合計	18,982,091	18,824,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,423,889	2,867,496
退職給付に係る調整累計額	△57,775	△54,799
その他の包括利益累計額合計	2,366,114	2,812,697
非支配株主持分	4,255,193	4,445,789
純資産合計	25,603,400	26,082,650
負債純資産合計	44,251,225	43,197,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,717,848	3,721,094
売上原価	2,646,084	2,627,365
売上総利益	1,071,764	1,093,729
販売費及び一般管理費	1,178,760	1,031,929
営業利益又は営業損失(△)	△106,996	61,799
営業外収益		
受取配当金	87,365	95,358
負ののれん償却額	69,920	—
その他	11,995	3,998
営業外収益合計	169,282	99,356
営業外費用		
支払利息	13,016	15,014
その他	274	35
営業外費用合計	13,290	15,049
経常利益	48,994	146,106
税金等調整前四半期純利益	48,994	146,106
法人税、住民税及び事業税	12,048	25,387
法人税等調整額	△3,846	24,387
法人税等合計	8,201	49,774
四半期純利益	40,792	96,332
非支配株主に帰属する四半期純利益	50,135	76,346
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,342	19,985

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	40,792	96,332
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△188,548	576,456
退職給付に係る調整額	4,851	2,975
その他の包括利益合計	△183,697	579,431
四半期包括利益	△142,905	675,764
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△173,134	466,568
非支配株主に係る四半期包括利益	30,229	209,195

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は生産面等において現時点では大きくありませんが、事態の深刻化や長期化等は予測が立たず、加えて鉄道利用者の落ち込みは極めて大きく、かつてない厳しい環境が続くものと思われます。それに伴い、鉄道事業者の設備投資計画如何によっては、当社グループの業績、財政状態に悪影響を及ぼす懸念がありますが、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響の仮定に重要な変更はありません。